

群馬県 グループホームサンホープケアホームはな花 地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員で確認し合い、地域の中で安心して生活できるよう支えるケアを行っている	○	今後、今以上に地域のケアに取り組んでいきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には、必ず伝え理解してもらえるようにしている。また、日々のサービス提供場面において反映している	○	今後も理念を共有し、取り組んでいきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族には訪問時に伝えている。また、隣り組の方には会合等で伝えている	○	地域の方に対し今後は、多様な機会を図り取り組んでいきたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日頃のあいさつや話す機会を大切にしている	○	今後はもっと意欲的につきあいができるようにしたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民として自治会に加入していますが、地域活動には積極的ではないが行事等は回覧板などを通じて参加するよう心掛けている	○	今後は積極的に地域ケアサービスができるようにしたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	話し合いはしてるが実施していない	○	地域との啓発の場に出掛け、取り組んでいきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年に1回の評価を活かし、質の確保に努めている	○	今以上に職員と話し合い取り組んでいきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では報告を行い参加メンバーから意見。質問・要望を受け有意義な会議となるよう配慮している	○	今後は参加メンバーを増やし、サービス向上に努めたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	会議には参加して頂けないので報告に行っている。その際話す機会がある。以前は訪問もあった	○	今後も会議に参加して頂けるようお願いしていく。また、交流が図れるようにしたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員に対し話し合いをしていない為、支援できる体制が万全ではない	○	職員の理解を深めるよう勉強会や研修の参加を行いたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員は防止に努めているが学ぶ機会作りは積極的ではない	○	今後は周知徹底したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時は時間をとって十分な説明を行い、納得の上手続きを進めている	○	今後も個々の立場にたって丁寧な説明を行い取り組んでいきたい
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々利用者と話し合い利用者本位の運営を心掛けている。また、介護相談員が月に1回訪問され、利用者の立場に立った意見を頂き運営の参考にしている	○	今後も利用者本位のケアを行い要望や意見を出してもらい日々のケアに活かしたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月便りにて現在の報告をしている。また、訪問時に話をする機会を作り、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。また、記録も見て頂き、金銭管理については出納帳にて報告している	○	今後も家族に対し積極的な情報提供を行いたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が気軽に何でも言えるような雰囲気作りに努めている。また、質の向上に取り組んでいる	○	今後もご家族等の意見を反映して行きたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃よりコミュニケーションを図るよう心掛け、問いかけたり聞いたりするよう努めている	○	今後も職員の意見を反映させ、質の向上につなげる取り組みをして行きたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況の変化に対応できるよう職員間で話し合い、必要に応じて柔軟な体制をとっている	○	今後も状況の変化・要望に柔軟な対応ができるよう努めたい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には職員を固定し馴染みのケアを心掛けている。新しい職員が入る場合も利用者や家族にきちんと紹介し、皆にホームのことを教えてもらえるような工夫をしている	○	馴染みのケアが保たれるよう今後も努めたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できるよう努めている。また、研修報告もミーティングで発表し、報告書は全員が閲覧できるようにしている	○	今後も研修等の機会を確保したい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	群馬県地域密着サービス協議会に加入し行事や研修等に参加し、他のグループホームと交流を図っている	○	今後さらに同業者との交流が図れるよう努めたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩室が有り職員全員が1時間休憩とるよう配慮している。また、日頃職員とコミュニケーションを図り取り組んでいる	○	今後も職員から充分に話を聞いて対応したい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々に向上心を持って働けるように各自に話を聞いて、環境・条件についての配慮や工夫に努めている	○	今後も向上心を持って働き続ける為の取り組みに努めたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時より面談で生活状態を把握するように努め、必ず本人に会い受け入れられるような関係作りを心掛けている	○	今後も機会を作り受けとめるよう努めたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの経緯についてゆっくり聴くようにし、話を聴くことにより受けとめるように努めている	○	今後も家族自身を受けとめるよう努めたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時可能な限り対応するが、必要に応じてたにサービス機関につなげている	○	今後も見極めと支援は努めたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族等と十分に話し合いながら本人が徐々に馴染めるよう利用者の幅を広げていくよう努めている	○	本人の安心と納得を大切にしたい支援に今後努めたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側支援される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるように場面作りや共に支え合う関係作りに努めている	○	今後も共に暮らし、支え合う関係を築いていきたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いに寄り添いながら日々の出来事や気づきの情報共有に努め、支える為に家族と同じ思いで支援することに努めている	○	今後も家族と密にコミュニケーションを図り、共に支援して行きたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の日頃の状態をこまめに報告・相談すると共に、両者の思いが結びつくような働きかけを心掛けている	○	今後も本人・家族の支援者として努めたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域に暮らす馴染みの知人・友人等の関係が途切れないように配慮し交流ができるよう働きかけている	○	今後も関係が途切れないよう支援して行きたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	みんなで楽しく過ごせる時間や気の合う者同士で過ごせる場面作りをするなど、利用者同士の関係がうまく行くように職員が調整役として支援している	○	今後も利用者同士が関わり合え、支え合えるよう努めたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了時に家族に対し相談や支援に応じている姿勢は伝えているが、積極的なフォローはしていない	○	今後は継続的な取り組みができるよう努めて行きたいと考えます
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声かけをし把握に努めている。また、本人にどこでどのような暮らしたいか・何をしたいか・誰に会いたいかを家族を交えて取り組んでいる	○	今後も一人ひとりの思いや希望・意向等が把握できるよう取り組んで行きたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族に本人のバックグラウンドに関する情報の大切さを伝え小さな事柄でも伝えてもらい、本人の全体像を知る取り組みをしている	○	今後も利用者が自分らしく暮らせるよう取組んで行きたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人ひとりの生活リズムを理解し行動や小さな動作から感じ取り、本人の全体の把握に努めている	○	今後も現状を総合的に把握しよう努めて行きたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聴き反映させるようにしている。また、アセスメントを含め意見交換やモニタリングやカンファレンスを行っている	○	今後も利用者本位にケアプランを作成するためにチームで取り組んで行きたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や本人の要望を取入れつつ期間が終了する前に見直し、状態が変化した際にはその都度検討・見直ししている	○	今後の現状に即したケアプランの見直しに努めたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルし身体的状況及び日々の暮らしの様子等を記録している。また、ケアプランに沿って実践し評価を日常的に記録している。全ての職員が確認できるようにしてあり情報交流を徹底している	○	今後も日々の記録と実践に取り組み情報を共有しながらケアに活かしたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している	○	今後も柔軟な支援に取り組んでいきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が地域の中で安心して暮らせるよう地域の方(区長・民生委員・介護相談員等)との意見交換する機会を設けている	○	今後はさらにネットワークを広げ取り組んでいきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や体調に応じて訪問理容サービスや介護保険以外のサービスを利用してもらっている	○	今後も今以上に他のサービスを利用する為の支援に努めたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働はなされていない	○	今後、地域包括支援センターの職員が運営推進会議に参加してもらえるよう働きかけ、協働できるよう取り組んでいきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医になっている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて対応している。また、不可能の時は職員が代行している。利用時にその旨を説明し同意を得ている	○	今後、適切な医療が受けられるように支援に努めていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	今後、積極的に診断や治療を受けられるよう支援して行きたい
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	今後も職員間の連携を図り支援に取り組んで行きたい
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	今後も家族・医療機関とも協働しながら退院支援に努めて行きたい
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後も本人・家族の意向を確認しながら対応・方針の共有を図って行きたい
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後も利用者を支える為にチームの連携、職員の力量、諸条件等を備え他の利用者の影響も踏まえて対応して行きたい
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	今後さらダメージを防ぐことに努めて行きたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わり方を点検し利用者の誇りやプライバシーを損なわないように対応を図っている	○	今後もプライバシーの確保の徹底に取り組んでいきたい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に合わせて声かけをし意思表示が困難な方には、表情・行動を読み取ったり些細なことでも一人ひとりが自分で決める場面作りを支援している	○	今後も一人ひとりが自己決定の支援の取り組みをしていきたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者が主人公として暮らせるよう一人ひとりの体調に配慮しながら、その日その時に本人の気持ちを尊重しできるだけ個別性のある支援を行っている	○	今後もその人らしい暮らしを大切にペースに沿って見守りながら支援していきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人主体で身だしなみを整えられるよう支援し不十分なところや乱れはさりげなく直している。また、自己決定がしにくい利用者は職員と一緒に考えて気持ちに沿った支援を心掛けている	○	今後も一人ひとりに合ったおしゃれの支援に努めていきたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人内の給食サービスを利用しているが週1~2回を麺の日とし食事作りを支援している。その際、準備や片付けは声かけをし場面作りの工夫を心掛けている	○	給食サービス利用を改善し、食事作りを見直し取り組んでいきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は一人ひとりの嗜好物を理解しており本人の様子や時間を見ながらそれらを楽しめるように支援している	○	今後も嗜好物を楽しめるように支援していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用し尿意のない利用者については時間を見計らって訪室トイレで排泄できるよう支援している	○	今後も本人に沿った排泄支援が行えるよう取り組んでいきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者と話す機会を作り本人の意向にそって入浴の支援に取り組んでいる	○	今後も一人ひとりが楽しんで入浴できるように支援していきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者に日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努めている。また、一人ひとりの体調・表情・希望等を考慮してゆっくり休息がとれるよう支援している	○	今後も一人ひとりの生活リズムを大切に安眠や休息の支援をしていきたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの得意分野で力を発揮してもらえるようお願いできそうな仕事を頼み感謝の言葉を伝えている。また、外出・外食・行事等の楽しみ事を利用者と相談しながら行っている	○	今後も一人ひとりに合った役割や楽しみ事を見つけて支援して行きたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て少額のお金を持っている利用者もいる。また、家族よりお金を預かり事業所が管理しているが、買い物・外出時できる方は支払えるよう支援している	○	今後も一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり使えるよう支援して行きたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に利用者と相談し希望に応じて外食・ドライブ・散歩に出掛け地域にふれあう機会を持つよう心掛けている	○	今後も多彩な外出支援に取り組んで行きたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者と相談し小旅行として遠くの場所へ出掛けている。職員の勤務調整をしながら行っているが、場合によっては家族の協力を依頼することもある	○	今後も一人ひとりの思いや願いが叶えられるよう支援して行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人に電話しやすい雰囲気作りや会話が他利用者に聞こえないように電話の設置場所を工夫している	○	今後も電話しやすい雰囲気作りや手紙を書く支援をしていきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族等の方々が気軽に来やすい雰囲気作りに心掛けている。また、訪問時間は定めておらず仕事帰りや都合のいい時間帯にいつでも訪ねて頂けるように配慮している	○	今後もいつでも気軽に訪問でき居心地よく過ごせるよう支援していきたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員は身体拘束によって利用者が受ける身体的・精神的弊害について理解しており、拘束しないケアに取り組んでいる	○	今後も身体拘束をしないケアに取り組んでいきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りの方法を徹底し、また、一人ひとりのその日の気分の状態をキャッチすることで日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援している	○	今後も見守り・声かけ・アドバイスの実践で鍵をかけないケアに取り組んでいきたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ空間で記録等の作業を行いながら、さりげなく利用者の状況を把握しようと努めている。夜間については数時間ごとに利用者の確認をしまし、すぐに対応できるよう居場所を工夫している	○	今後もプライベートに配慮し利用者の安全確認に努めたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	全てを取り除くようなことはなく利用者の状況変化によっては注意を促していくなど、一人ひとりに応じた対応を心掛けている	○	今後も一人ひとりの状態に応じた 取り組んでいきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現在の利用者の状況に応じて想定される事故を職員で話し合い共有確認を図っている。また、事故が発生した場合速やかに報告書を作成し今後の予防対策を検討し家族に説明と報告をしている	○	今後も事故防止の為に一人ひとりの状態に応じて取り組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	群馬県地域密着型サービス協議会が開催する救急救命の講習等に参加し訓練を行い全ての職員が対応できるように心かけている	○	今後も実際の場面で活かせるよう技術を身につけて行きたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し年2回消防署の協力を経て避難訓練を行っている。地域の協力体制は隣組の会合等で協力を呼びかけている	○	今後も定期的に訓練を行い、地域の協力体制をお願いし取り組んで行きたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こりえるリスクについては個別的に話し合いを行い、理解を得られるよう努めている。また、状況変化に応じて繰り返し話し合いを行っている	○	今後も家族等に事業所の取り組みを説明し理解を得られるよう取り組んで行きたい
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調や些細な表情の変化に注意し早期発見に取り組んでいる。変化等に気付いた時は看護師に報告し、職員間で共有、対応している	○	今後も早期発見に努め、早期対応に取り組んで行きたい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師と連携を図り服薬ケアに取り組んでいる。服薬時は常に内服確認し、きちんと服用できるよう努めている。また、看護師は個人看護ファイルを作成し協力機関と連携を図っている	○	今後も服薬支援と症状の変化に努めて行きたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの一日の暮らし全体の中で食事、排泄、活動状態等を見直し、自然排便を促す工夫を個別にしている。また、下剤を使用している場合は個々に合わせた使用で対応している	○	今後も便秘の予防と早期の対応に努めて行きたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後声かけをし一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援に取り組んでいる	○	今後も一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援を行って行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状態を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。また、家族、職員間で情報や気付き、アイデアを出し合い本人の食生活を支援して行く工夫に努めている	○	今後も一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしていきたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	起こりえる感染症についてマニュアルを作成し早期発見、早期対応に努めている。また、利用者及び家族に同意を頂き、職員共にインフルエンザ予防接種を受けている。ノロウイルスの対策、予防も行っている	○	今後も全職員に周知し予防に努めていきたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、台所水周りの清潔・衛生を保つようにしている。また、買い溜めをしないようにし、冷蔵庫・冷凍庫の点検を必ず行っている	○	今後も日々の衛生管理・点検の取り決めをし、実行していきたい
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲に花壇があり四季折々の花を植えたり、玄関先にプランターを置いて季節感を演出している	○	今後も安心して出入りできる玄関周りの工夫に取り組みたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾付けや家具の配置は利用者と考えて工夫している。また、職員と利用者で居心地良く過ごせるよう話し合い工夫をしている	○	今後も居心地の良い空間作りに努めていきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの居場所がありまた、居場所作りに心掛けている。気の合った利用者同士がくつろげるスペース作りを配慮している	○	今後も一人ひとりの居場所作りに努めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりその人らしい居室づくりになっており家族の写真や好きな歌手の写真など飾っており、また、好みの物や馴染みの物などを生活スタイルに合わせた配慮がある	○	今後も利用者一人ひとりが居心地良く過ごせるよう工夫し取り組んでいきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度や湿度の調節は職員が感覚だけでなく、利用者一人ひとりの状態に配慮している。また、こまめに換気をしている。トイレは悪臭が出ないよう換気扇と消臭剤で工夫している	○	今後も利用者一人ひとりが快適に過ごせるよう配慮して行きたい
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせて手すりや浴室、トイレ廊下などの居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしている	○	今後も安全な環境作りに努めて行きたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人ひとりの状態を見極め、馴染みの物を活かしそれぞれに合った工夫をしている	○	今後も状態に合わせて環境整備に努め力を取り戻せるよう試みたい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	戸外スペースを活用して外気浴を楽しんだりお茶をしたり、心身のリフレッシュを支援している。また、中庭のウッドデッキを活用している	○	今後も一人ひとりが過ごせる場所として外回り空間を活かして行きたい

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

はな花では、笑いのある生活を大切にしています。また、朝の会や午後にレクを行い、皆と一緒にふれ合う場面作りに取り組んでいます。